

令和6年度第3回コミュニティ・スクール委員会

(清水・御影CS委員会合同開催)

会 議 録

1 出席委員等

清水CS委員会~小室委員長、土屋副委員長、宮城委員、梶委員、中村委員、堀委員、森委員、高委員、内田委員、寺岡委員

欠席~長尾委員、高金委員、

御影CS委員会~若原委員長、大石副委員長、米光委員、口田委員、久野委員、上谷委員、細田委員、佐藤委員、金山委員

欠席~太田委員、乙戸委員

【教育委員会】山下教育長、玉手係長、高谷主事

【事務局】渋谷学校教育課長、安ヶ平社会教育課長、太田同課参事(支所長)、山川教育指導幹、野田教頭、村尾教頭、津田副園長、三木教頭、休宮教諭、増田教諭、久萬教諭、筒井教諭、上出CSコーディネーター

2 場 所 清水町御影公民館大集会室

3 日 時 令和7年3月4日(火)18時30分

4 傍聴人数 1名

5 会議内容

教育長あいさつ

町長選挙があったが、引き続き子どもたちを中心とした教育をしっかりと進めていきたい。この一年間教育委員会としては「一貫」をキーワードに国際交流などを取り進めてきた。学校においても4月に目標を立て取り組んできている。今日は一年間の成果と課題を話し合っただけだが、次年度に向け学校経営等に反映していきたい。

両委員長挨拶

清水CS委員会小室委員長よりあいさつあり。

次年度に向け良い意見交換ができればと思う。

御影CS委員会若原委員長よりあいさつあり。

今年度より PTA の活動に関わったが、語り合える良い機会となった。

説明・協議事項

(1)各学校等の取組結果について(各学校等から説明)

しみず認定こども園、御影こども園、清水小、御影小、清水中の順に、事前配布資料(教育のデザイン診断編)に基づき説明。御影中は、代表欠席により追加説明省略。

各学校等の説明に対し質問・意見無し。

(2)小中一貫教育について

- ・教育指導幹より清水町小中一貫教育推進協議会の実施状況について資料に基づき説明
- ・清水地区の「活動報告」について、推進委員会事務局である清水中学校村尾教頭より資料に基づき説明
- ・御影地区の「活動報告」について、推進委員会事務局である御影小学校三木教頭より資料に基づき説明。

各説明に対し質問・意見無し。

(3)意見交換(熟議)

清水 CS 委員会と御影 CS 委員会をそれぞれ 2 分散会で討議の後、全体で発表を行う。
しみず「教育の四季」の本年度の重点事項を振り返り、実現できたか、さらに深めるためには何をなすべきか等、めざす子ども像に向けての具体策等の意見交換を行った。

御影 A 班 司会 口田委員 発表 若原委員長

あいさつについて小学生はできているが、中高生になるとどうしても言葉に出せない。そのことが気になる。

小学校の児童会と中学校の生徒会の交流を増やし、その際には子どもたち自らで企画するなどテーマを決めさせても良いのではないか。

「教育の四季」の「12 の窓」は良いものなので、ITC 化を活用することにより親の目にも留まるのではないか。清水町の LINE に掲載してはどうか。

御影 B 班 司会 米光委員 発表 上谷委員

「しみず教育の四季」の重点目標のうち、挨拶については、こども園からは地域行事等で積極的につながっている。また、小学校では食育で地域交流が盛んなので

できている。中学校でも書写ボランティアなどで地域との関わりがあり、挨拶も積極的に行っている。

教育の四季は御影地区ではほとんどできているので次のステージへ進むべきではないか。アップデートし、「生命の尊さ」「他の国との交流により多様性への感性を磨く」「スマホとのうまい付き合い方」などを取り組んではどうか。

清水 A 班 司会 小室委員長 発表 森委員

絵本をはじめ今後も読み聞かせを続けてほしい。

挨拶については、子供からしてもらうものか大人からするべきかの論議となったが、なるべく大人からすることにより子供に伝わるのではないか。

睡眠時間の確保や外遊びをする子供が少ないことから、そのことを「教育の四季」の重点にして力を入れるべきではないか。また、親子での料理作りやスポーツ経験なども入れてはどうか。

「教育の四季」が日常では頭に入っていない。もう少し知ってもらうため、まずは絞ることによりわかりやすくなるのではないか。また、現行の「12 の窓」以外にも取り入れられるものがあれば取り入れてはどうか。

清水 B 班 司会 梶委員 発表 休宮教諭

本会議の開催日時が高校入試と同日になったので配慮していただきかった。

人がいかに地域に戻ってくるかということについて話し合った。中学校では面接を繰り返して半数ぐらいが将来の目標を決めるが、中学校の職業体験で保育士を希望する生徒が出てきた。このことから小中一貫を活用してはどうかとの意見が出された。まずは小中の先生間で情報共有して取り組んではどうか。さらに幼保小や高校までを組み込んで一環の中で取り組めないか。

更には、人を育てるには何が大切かを話し合った。どんな仕事に就いたとしても、人の話を聞く力と自己肯定感を育てることにより愛される人格になるのではないか。正直な人が愛されるということから小中一貫を通して進めるべきではないか。

(4)その他

令和7年度教育の四季地域学校協働本部会議兼第1回CS委員会を4月16日開催予定であることを周知

他に発言なく会議を終了。

(20時13分)